

授業科目 (ナンバリング)	総合実習 (事前学習) (N4F415) (実践的教育科目)			担当教員	大磯 茂*・早川 正信*・室 高広*・神田 紘介*・ 大久保 伸哉*・末廣 真理恵*・中島 健輔*・ 出口 雄也・藤井 佑樹・藤本 京子・石原 知明・ 榎本 彩乃・川寄 達也 (*実務経験のある教員)		
展開方法	実習	単位数	1 単位	開講年次・時期	4 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
薬局および病院における実務実習において参加・体験型の実習を円滑に行うことができるように、調剤Ⅰ(事前学習)、調剤Ⅱ(事前学習)、生物薬剤(事前学習)および処方箋解析(事前学習)での学びを踏まえ、調剤、調剤薬鑑査、情報提供、服薬指導、無菌操作などに関する基本的技能、態度を総合的に修得することを目標とする。							①④⑩
	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> 処方せん受付から服薬指導までの一連の流れを理解し、実施事項および実施上の注意点を説明できる。 処方せんに基づき、調剤をシミュレートできる。 調剤薬の鑑査をシミュレートできる。 無菌操作の原理を理解し、基本的な無菌操作を実施できる。 				随時試験(実技)	50%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> 薬学的管理に必要な情報を適切に収集し、分析できる。 				随時試験(実技)	30%	
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> 患者や医師・看護師等の医療従事者への薬の情報の適切な提供をシミュレートできる。 				随時試験(実技)	5%	
協働・課題解決力							
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> 患者が多様であることを理解し、模擬患者に適切に接することができる。 患者・利用者に配慮した適切な態度および行動ができる。 				随時試験(実技)	5%	
					観察記録	10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価比率を100%とする実技随時試験を行う。評価比率の内訳は、各実習において、専門力5または10%(5×2+10×4=50%)、情報収集、分析力各5%(5×6=30%)とし、薬局および病棟での患者対応でコミュニケーション力各5%(5×2=10%)とする。							
授業の概要							
病院または薬局における薬剤師としての実務経験を有する教員が、調剤、調剤薬鑑査、無菌操作、情報提供、服薬指導などの実習を総合的に行う。実習開始前日までに実習書を配布する。実習当日、必要に応じてプリントを配布する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教科書・参考書							
教科書:スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅰ 臨床薬学の基礎および処方箋に基づく調剤(東京化学同人) スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅱ 薬物療法の実践(東京化学同人) スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅲ チーム医療および地域の保健・医療・福祉への参画(東京化学同人) 参考書:調剤学総論改訂13版(南山堂)、調剤指針第十四改訂(薬事日報社) 指定図書:スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅰ 臨床薬学の基礎および処方箋に基づく調剤(東京化学同人) スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅱ 薬物療法の実践(東京化学同人) スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅲ チーム医療および地域の保健・医療・福祉への参画(東京化学同人)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
本実習は、実務実習に参加する前に学内で調剤、調剤薬鑑査、無菌操作、情報提供、服薬指導などに関する基本的技能、態度を学ぶことのできる最後の機会であることを認識すること。 実習書及び教科書を用いて次回の実習内容を予習するとともに、当日配布するプリントを利用して復習をすること。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習	到 達 目 標 番 号*
1	総合実習	・ 計量調剤 (大磯・大久保・未定)	教科書 p 124 ～133 および 実習書の予習	916, 925, 927
2	総合実習	・ 計数・計量調剤 (中島・未定)	教科書 p 124 ～133 および 実習書の予習	916, 925, 927
3	総合実習	・ 調剤鑑査 ・ 持参薬確認 (室・榎本)	教科書 p 161 ～164 および 実習書の予習	917, 918, 919, 932
4	総合実習	・ 薬局での患者対応・薬剤交付 ・ 来局者対応 ・ 一般用医薬品の情報提供 ・ 在宅での薬学的管理 (早川・石原)	教科書 p 165 ～181 および 実習書の予習	944, 946, 947, 949, 1050, 1051
5	総合実習	・ 病棟での初回面談 ・ 病棟での服薬指導 ・ 疑義照会 ・ 医療従事者への情報提供 (神田・未定)	教科書 p 165 ～181 および 実習書の予習	944, 946, 947, 949, 987, 1013, 1014
6	総合実習	・ 無菌操作 (末廣・藤井)	教科書 p 148 ～160, P213～ 222 および実 習書の予習	930, 976
7	随時試験	・ 実技試験		

注) 上記の第1回～第7回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。